

開設講習名	【選択必修】学校におけるリスクマネジメント ～いじめの未然防止と組織的対応～		講 師	和泉 研二	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 7 月 29 日		時間数	6 時間	受講予定人数 48 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
主な受講対象者	全教員				
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
取り扱う事項	様々な問題に対する組織的対応の必要性、学校における危機管理上の課題				
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>危機管理の基礎的考え方や危機発生の背後に潜む原因の本質を理解することにより、日頃の学校教育活動を、未然防止を中心とする目線で改善しようとするができるようになるとともに、危機発生時における教員並びに学校組織の対応に関する事例研究やグループ演習等を通して、危機管理能力の向上を図る。</p>					
<p><b>【講習の概要】</b></p> <p>到達目標達成のため、以下のような項目を取り上げて、事例研究や演習を行う予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 危機管理の考え方 : クライシスマネジメントからリスクマネジメントへ</li> <li>2) 初期対応の重要性 : なぜ失敗するか</li> <li>3) 公表の問題</li> <li>4) 学校安全の概要・法的位置付け : 学校安全の3領域、学校・教員の義務と責任</li> <li>5) 判例に見る安全確保義務</li> <li>6) いじめの捉え方と教員のスタンス</li> <li>7) いじめに向かう要因は何か</li> <li>8) 学級集団の特徴といじめ : 教員の指導性</li> <li>10) 利得構造から見た学級秩序の形成と崩壊</li> <li>11) 共感を基盤とした社会的集団への適応</li> <li>11) 発達段階における子どもの社会性の形成といじめ</li> <li>12) 安全教育の基本姿勢と進め方 : 危険予知トレーニング</li> <li>13) 外部との連携</li> </ol> <p>など。</p>					
<p><b>【評価の方法・評価基準】</b></p> <p>評価の方法: 筆記試験</p> <p>評価基準: 本講習で学んだ内容を理解するとともに、自らの危機管理に対するこれまでの意識や行動を省察し、今後の教職活動に具体的なイメージを持って活かそうとすることができる。</p>					
<p><b>【テキスト・参考文献】</b></p> <p>テキスト(資料)は、講習当日配布予定。</p>					
<p><b>【受講者への伝達事項】</b></p> <p>新聞報道等で見聞きしたことやご自身の体験等をもとに、学校における事件・事故やいじめに対するご自身のお考えを、深めておいてください。</p>					